

適用問題 6年じゅくり 「分数のわり算を考えよう」(5 / 1 2)

(1) 目標・評価規準

本時の目標	分数、小数、整数の混じった乗除計算は、小数や整数を分数で表すと計算しやすいことを理解し、その計算ができる。
本時の評価規準	【技】分数、小数、整数の混じった乗除計算ができる。(ノート)

(2) 展開

学習活動	主な発問(○)と 予想される児童の反応(●)	評価規準 (評価方法)	指導上の留意点(●) 対話(○)振り返り(※)
<p>1 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $0.3 \div \frac{3}{5}$ と $0.4 \times \frac{1}{2}$ を計算しよう。 </div> <p>2 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 小数と分数などの混じった計算の仕方を考えよう。 </div>	<p>○前回までの問題と何が違いますか。</p> <p>●小数と分数が混ざっている。</p>		<p>●分数、小数どちらにそろえても解ける問題にする。</p>
<p>3 見通しを持つ。</p> <p>4 自分の選んだ方法で自力で答えを求め 対話①</p> <p>5 全体で考えをまとめる。全体討議</p> <p>6 1回目のまとめをする。</p>	<p>○どうすれば計算できそうですか。</p> <p>●分数にそろえるよ。</p> <p>●小数にそろえるよ。</p> <p>● $0.3 \div \frac{3}{5} = \frac{3}{10} \div \frac{3}{5} = \frac{1}{2}$</p> <p>● $0.3 \div \frac{3}{5} = 0.3 \div 0.6 = 0.5$</p> <p>● $0.4 \times \frac{1}{2} = \frac{4}{10} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{5}$</p> <p>● $0.4 \times \frac{1}{2} = 0.4 \times 0.5 = 0.2$</p> <p>● 小数にそろえても、分数にそろえても計算できるんだね。</p>		<p>●自力で解決したものを対話により確認し合う。</p> <p>●答えの分数を小数に、小数を分数に直して確認することで同じ答えということを確認する。</p>

	<p>7 適用問題①に取り組む。</p> $0.3 \div \frac{2}{3} \times 2$ <p>8 ペアで対話②をし、困ったことについて話し合う。</p>	<p>○適用問題に取り組みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あれ。小数に直せないぞ。 ・小数には直せなかったよ。 ・分数でやるとできたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数にそろえられない問題にする。 ・事前にどちらで取り組んでみるかを聞く。 <p>○対話によって分数の中には小数に変換できないものがあることを再認識させる。</p>
<p>ま と め 1 0 分</p>	<p>9 本時のまとめをする。</p> $\text{小数} \cdot \text{分数} \cdot \text{整数の混じったかけ算、わり算は分数にそろえると必ず計算できる。}$ <p>10 適用問題②に取り組む。</p> $0.3 \div \frac{3}{7} \times 5$ <p>11 振り返りを書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ児童の言葉でまとめをする。 ・必ずという言葉をおさえる。 <p>【技】分数、小数、整数の混じった乗除計算ができる。 (ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く終わった児童はもう一問問題に取り組ませる。 <p>※分かったことや気づいたことを具体的に算数日記に書かせる。</p>

(3) 適用問題

$$0.3 \div \frac{2}{3} \times 2 \quad (1 \text{ 回目})$$

$$0.3 \div \frac{3}{7} \times 5 \quad (2 \text{ 回目})$$

(4) 授業を終えて

○本時では適用問題①を使って小数に直すことができないものもあることに気づかせ、理解の深まりをねらった。ねらい通り問題について深く考えることができ、児童の思考が深まった。

○技能の授業なので適用問題の問題数をもっと増やした方がよかった。

●問題数をこなすことで小数になおした方が良い場合と分数に直した方が良い場合を見分けられるようにした方が良いという意見も出た。